

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Sustainable Tourism II	（ TCR223 ）	
講義名（コード）	TCR_Sustainable Tourism II_A	（ TCR223A ）	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	飯田 誠一	時間数	30
成績評価教員	飯田 誠一	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力および専門力におけるサービス分野の学びの中で、自国と他国の風土を理解した上で、ホスピタリティとサステナビリティの体系的習得と実践を行う。サステナビリティの理解とホスピタリティの発揮が求められる各業界や企業において、現場で具体的なアクションや提案ができるようになる。
全体の内容と概要	SDGsに対する理解を深め、ホスピタリティが求められる業界・職種・シーンにおいて、サステナビリティ、ビジネス、顧客満足のバランスが取れたコミュニケーションが取れるよう講義と演習を行う。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	授業スケジュールと内容は、祝日や学校行事等との兼ね合いで調整される可能性がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	発表課題について SDG s の復習	後期の発表課題と校外学習について SDG s の復習
2	現在の地球から考える持続可能性を知る	現在の地球の状況
3	現在の地球から考える持続可能性を知る	地球の持続可能性と観光が与える負荷
4	有限な地球におけるサステナブルツーリズムの実践を考える	必要不可欠なグリーン施策
5	有限な地球におけるサステナブルツーリズムの実践を考える	総合的な環境配慮がもたらすメリット
6	真のサステナブルツーリズムを目指すことを考える	真のサステナブルツーリズムを考え目指す
7	GSTCの基準を知る	GSTCの基準を知る
8	食について調べ発表する準備をする	ハラルフード・ビーガンフード・アレルギーフードについて理解したことをSDG s を意識してまとめ発表の準備をする。
9	調べたことを発表できる 感想と評価	ビーガンフードについて発表をする / 評価表に記入する
10	調べたことを発表できる 感想と評価	発表をする / 評価表に記入する 発表感想を述べる。
11	調べたことを発表できる	課外授業を通してSDG s ツアーを企画し発表をする準備をする。
12	調べたことを発表できる	課外授業を通してSDG s ツアーを企画し発表をする準備をする。
13	発表をもとにアイデアを発表し意見交換をすることができる。	課外授業を通してSDG s ツアー企画の発表をする。
14	期末試験	期末試験
15	まとめと振り返り	一年間の振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ハンドアウト
参考文献・資料等	サステナブルツーリズム （晃洋書房）富稿 亜矢子著
備考	